



20th Anniversary

日立女性フォーラム



目 次

・あいさつ		
日立女性フォーラム会長	柴田 百恵	1
創立20周年記念事業実行委員長	佐々木 早苗	
・祝 辞		
日立市長	小川 春樹	2
日立市議会議長	茅根 茂彦	3
日立市生活環境部長	橋本 仁一	4
〃 女性若者支援課長	玉置 伸一	
映画「ある町の高い煙突」を応援する会代表	原田 実能	5
MAPイラストレーター	松浦 亨子	
・20年のあゆみ		6
・創立20周年に寄せて		
～あの頃を振り返って～		8
・思い出のひとこま		1 3
・歴代役員		1 8
・これまでの提言		2 0
・ランチ&スイーツMAP		2 3
・会則		2 6
・会員名簿		2 8
・あとがき		2 9



あいさつ

日立女性フォーラム会長 柴田 百恵

この度、日立女性フォーラムは創立20周年の記念すべき節目を迎えることができました。これはひとえに関係する行政機関を始めとする皆様方のご指導、ご支援の賜物であり、衷心よりお礼申し上げます。

女性の人材育成のために平成11年に女性大学が開校され、翌年第一期修了生が「元気で人にやさしいまちづくり」を目的に、日立女性フォーラムを創立しました。歴代の会長を中心に研修会、講演会、現地視察等行い、研鑽と会員相互の交流を図っています。女性大学閉校の平成23年からは、隔年で機会を頂き、女性視点からの想いを込めて、市への提言を続けています。

創立20周年にあたり、これまで女性大学修了生を中心に行ってきたまちづくりの活動を、ひとりでも多くの女性に継承していきたいとの思いを新たにしております。「女性が輝ける社会」「住んで良かったと思える日立市」を目指して、女性ならではのしなやかさと忍耐力をもって、さらに飛躍するべく一層努力してまいります。最後に、創立20周年記念誌にご祝辞や玉稿を賜りました皆様方に、深く御礼申し上げまして、ごあいさつといたします。



創立20周年記念事業実行委員長

第6代 / 第10代会長 佐々木 早苗

おかげさまで日立女性フォーラムは、令和2年2月をもちまして、創立20周年をむかえました。東日本大震災では地域力が試され、新型コロナウイルス等では生活力が試されていますが、これまで、まちづくりの信念を心に絶やすことなく活動を続けることができましたのは、ひとえに関係する諸団体の皆様方及び、関係する行政機関の温かいご支援とご指導の賜と、心より厚く感謝申し上げます。

日立市女性大学の第一期修了生が当会を誕生させて以来20年の間、「元気で、人にやさしいまちづくり」を目的に、各々の会員がそれぞれの活動のフィールドから真摯に意見の交換を行い、真剣にまちづくりに取り組んでまいりました。さらに、講演会開催や視察研修及び様々な講座を開催するなど、研鑽と啓発を重ねております。共に活動した会員の数は86名を数えました。創立20周年の節目にあたって、この記念誌が「未来への継承」となることを切に望み、先人たちの「あゆみ」を周年の記録として残すことといたしました。「初心忘るべからず」という言葉がございますが常に初めの志に立ち返り、いっそう精進いたしてまいりたいと考えております。本記念誌にご祝辞や玉稿を賜りました皆様方に、深く御礼申し上げまして、ごあいさつといたします。

祝 辞



日立市長 小 川 春 樹

日立女性フォーラムが創立20周年という記念すべき節目を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

また、柴田会長をはじめ、日立女性フォーラムの皆様方には、日頃から本市のまちづくりに、多大なる御支援と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

日立女性フォーラムにおかれましては、まちづくりにおける女性リーダーを育成することを目的とした、本市主催の「女性大学」の修了生を中心に、平成12年に発足して以来、20年という長きにわたり、「元気で人にやさしいまちづくりを目指し、主体的に活動していく」という理念のもと、女性ならではの視点で、本市の魅力発信や地域の活性化、そして本市の各種施策を独自に調査研究し、提言をいただいております。

これもひとえに、本市を愛し、まちに貢献したいという、皆様方の熱意と御努力の賜物であり、深く敬意を表する次第であります。

とりわけ、令和元年に「いきいき茨城ゆめ国体」が開催された際には、池の川さくらアリーナと JR 各駅周辺の飲食店マップを作成いただき、全国からのお客様に本市を紹介する貴重な資料として活用されましたほか、市民の皆様にも日立市の魅力を再確認していただくことができたものと考えております。皆様方の御尽力に、改めまして、心から感謝申し上げます。

本市といたしましては、引き続きすべての世代の方々が、希望を胸に、安心して健やかに、生き生きと輝き続けられるまちづくりを進めるとともに、「住みたいまち」「住み続けたいまち」として多くの方々に選ばれ続けますよう、各種取り組みを進めてまいりますので、皆様方におかれましては、温かい御支援と御協力をお願い申し上げます。

結びに、創立20周年を契機といたします日立女性フォーラムのますますの御発展と、会員皆様方の御健勝と御活躍を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝 辞



日立市議会議長 茅 根 茂 彦

この度、日立女性フォーラムが創立20周年を迎えられましたこと、心からお喜び申し上げます。

また、この機会に記念誌を発刊されますことは、これまでの活動を振り返り、次なる飛躍へのステップとするためにも誠に意義あることと存じます。

日立女性フォーラムは、女性の人材育成のために平成11年に開校された女性大学の卒業第一期生によって結成された団体であり、平成23年に女性大学が終了した後も今日まで意欲的に活動しておられます。

また、創立以来、女性ならではの感性やきめ細かい視点を生かし、「元気で人にやさしいまちづくり」を目指して積極的に活動されており、近年では、映画「ある町の高い煙突」の撮影応援や広報活動、日立駅へのピアノの設置支援活動、さらには、いきいき茨城ゆめ国体において、全国から訪れる皆様への「おもてなし」としてボランティア活動を行うなど、日立市の魅力発信やまちの賑わいの創出、地域活動の活性化のために多大な貢献をされておられます。これまでの活動を支えてこられました歴代の会長をはじめ、会員の皆様方の御努力、御苦勞に対しまして、深く敬意を表する次第であります。

市議会といたしましても、市民の皆様が、様々な活動を通して交流を深め、生き生きと心豊かに暮らせるまちづくりの推進のため、さらには、日立市がより活性化するための施策について、一層議論を深めてまいりますので、皆様方におかれましては、引き続きの御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

多様化・複雑化する社会問題に対応しつつ、社会の活力を維持するには、市民自身が地域の問題を考え、解決に向けて取り組むことが重要と考えます。皆様方におかれましては、このたびの創立20周年を一つの節目といたしまして、今後とも真心のこもった活動を実践されますよう御期待申し上げます。

終わりに、創立20周年記念誌の編さんに当たり、御尽力されました方々に対しまして深く敬意を表しますとともに、日立女性フォーラムのますますの御発展と、関係者の皆様方の更なる御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

日立市生活環境部長 橋 本 仁 一

日立女性フォーラム創立20周年誠におめでとうございます。

女性フォーラムは、本市の女性リーダー育成事業である女性大学の修了生を中心に平成12年に発足され、以来20年にわたり、女性の視点で分野を問わず次代へつなぐ環境づくりなど、今日に至る大切な活動をされている団体へと発展されています。

女性大学事業が終了した後も、家庭や仕事のある中で自ら学びの場を持ち、女性の力が忌憚なく生かされている団体として着実に歩みを進めてこられたことは、会員の皆様方のご努力と熱意の賜物であると、心から敬意を表するところです。

日立市の男女共同参画社会の実現には、皆様方のしなやかな発想と確実な実行力が必要であると認識しており、大きな期待を寄せております。

日立市のために、地に足を付けた活動を継続してきた20周年を節目として皆様の活動も、ますます拡充されていくことを希望してやみません。

最後になりましたが、女性フォーラムの更なるご発展と会員の皆様のご健勝と更なるご活躍を祈念いたしまして20周年にあたっての祝辞とさせていただきます。



祝 辞

日立市生活環境部女性若者支援課長 玉 置 伸 一

日立女性フォーラムが創立20周年を迎えられましたこと誠におめでとうございます。女性フォーラムは、平成11年度から開設された「女性大学」が一つの縁となって、その修了生の有志によって設立され、女性の視点での「元気で人にやさしいまちづくり」をテーマに調査研究や対話を通じて様々なまちづくり活動に長年御尽力いただいておりますことに深く敬意を表します。

各分野の女性リーダーがフォーラムを形成し、20年もの歳月を歩み進んでこられたのも、まちをより良くしようという熱い思いとメンバー相互が認め合い尊重し合うという、よき風土を育ててきた皆様方のご努力の賜と感じております。男女共同参画社会の実現に向けた取組を推進する女性若者支援課では、ワーク・ライフ・バランスをはじめ一人一人の人権の尊重、更なる女性の活躍推進など様々なテーマを着実に進められるよう努めてまいりますので、今後も連携を図りながらより良いまちづくりの推進にお力添えをよろしくお願いいたします。

結びになりますが、女性フォーラムの更なるご発展と会員皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。まして祝辞とさせていただきます。



祝 辞

映画「ある町の高い煙突」を応援する会 代表

うのしまヴィラ館主 原 田 実 能

日立女性フォーラム創立20周年、おめでとうございます。女性フォーラムのみなさんとは、まちづくりの現場のどこかでお会いしている方ばかり。創立以前の20年来のお付き合いのある方もいらっしゃる。映画「ある町の高い煙突」の制作にあたっては「炊き出し隊」を結成くださいました。女性フォーラムはまさに政策立案&実現実行部隊。女性ならではの視点と嗅覚で日立市の課題をいち早く見つけ出し、それを政策として提言し、自ら汗をかいて形にしていける姿は、尊敬と感動という言葉しか見つかりません。いち早く「島根県邑南町」の子育てに注目されたり、「人口減少対策」の視点で藻谷浩介氏を招いたり、「観光カリスマ」の山田桂一郎氏の講演会を開催したり、これまで提言された「さくら」「路線バス」「コミュニティカフェ」「観光発信」についてなどなど、ここ数年を振り返ってみても、現在の日立の魅力のきっかけづくりや推進力になってこられたことは間違いありません。思うように進まないことでも、女性ならではの包容力と辛抱強さで継続実行されている姿は本当に頭の下がる思いです。女性フォーラムのみなさんが明るく元気であれば、日立も明るく元気になっていくと信じてやみません。この20周年を一つの通過点として、さらに日立市の元気のために、その歩みを進めていけることを切に願ってやみません。



祝 辞

イラストレーター 松 浦 亨 子

女性フォーラム創立20周年おめでとうございます。イラストなどほとんど描いたこともない私が、主人の母の手作り小物展で描いた小さい挿絵をきっかけに、(フレンドリーあんず「世界の家庭料理」)のイラスト依頼を経て、女性フォーラムから日立駅周辺ランチマップ依頼がありましたのが2009年、2011年。その後は私の都合でお断りしていましたが、佐々木さんの熱意に負け(笑)、まさかの日立全駅制覇「茨城国体用ランチマップ作成」という長〜い旅路をお手伝いすることになりました。1年半近く、土日と連休はほとんどランチマップ作成のハードな日々。それでも、マップ掲載了承のため1軒1軒お店を回った女性フォーラムの方たちの思いと、佐々木さんや市役所の国体担当者に支えられ、なんとか乗り切ることができました。最終提出日近くになると徹夜の日も。疲れ果てて抜け殻状態の私に、茨城国体へご訪問される天皇陛下と皇后雅子さまを、国体功労者としてお見送りができるという最高級のご褒美をいただきました。当日は、佐々木さんも含め20名ほどの功労者と共に両陛下にお言葉をいただき、大好きな雅子さまには「あら、マップ拝見したいわ」なんて言っていた(手荷物厳禁のため渡せず)、緊張と感激で気を失いそうでした。

最後となりましたが、今後も女性フォーラムのみなさまが、常に元気でイキイキとご活躍できる環境にありますことを祈念いたします。

20年のあゆみ

年 度	活 動 内 容
平成12年	日立市女性大学第1期生修了生によって結成 ひなまつりin清和館 ～武道や文化活動の殿堂で開催～ *「清和館」は老朽化のため H14使命終了、同地は「多賀市民プラザ」へ
平成13年	街かどウォッチング（市内5カ所で実施） *多賀商店街・平和通り商店街・銀座モール街・大みか商店街・小木津商店街
平成14年	パーク＆ライドについてのアンケート調査実施 女性センター祭りに参加
平成15年	ちょっとランチの店をさがそう！＝情報収集 女性センター祭りに参加 楽しめるまちを目指して（多賀連合商店会Pカード有志との懇談会）
平成16年	あの街この街ウォッチング（常陸太田市まいずる塾） 日立市の女性によるふるさと再発見事業 多賀商店会と連携したタウンマップ「彩づく樹々のまちー多賀」作成・イラストレーター中村真理子さん タウンマップ作成のための情報収集 女性センター祭りに参加 下館女性団体視察受入れ（交流）
平成17年	十王町女性団体との懇談会 *多賀郡十王町は H16年11月日立市と合併 茨城県かがやきの未来を拓く男 ^{ひと} と女 ^{ひと} にてタウンマップがハーモニー功労賞団体の部受賞 あの街この街ウォッチング（真壁町のひな祭り）
平成18年	あの街この街ウォッチング（十王ダム・酒蔵・蒔蒔づくり・菊農家巡り） 男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラムに参加 於：国立女性教育会館 「生き生き わが街のタウンマップ作り」の実践発表 日立鉱山と桜のまち日立の歴史研修（共楽館／日鉱記念館）
平成19年	笠間市女性団体との懇談会と陶芸美術館見学 もったいない図書館見学（矢祭町） 私たちにできること～市民の手でまちづくり～ 女性センター祭りに参加
平成20年	マイバック推進アンケート調査実施 女性センター祭りに参加 ごみ減量推進・推奨活動とアンケート調査実施 ひたち環境都市フェスタ2008に参加 （H21、2より市内のほとんどの店舗でレジ袋無料配布廃止） おいし～い !! ひたち MAP2009版作成 ・イラストレーター松浦亨子さん おもてなし無料休憩所（湯茶接待と上記マップ配布） 日立さくらまつりに参加
平成21年	リユース容器の紹介とアンケート調査実施 女性センター祭りに参加 リユース容器の紹介とアンケート調査実施 ひたち環境都市フェスタ2009に参加 おもてなし桜茶屋出展（無料休憩所及び無料呈茶・マップ配布） 日立さくらまつりに参加
平成22年	おもてなし桜茶屋出展（無料休憩所・湯茶・さくら茶接待） 日立さくらまつりに参加 HJF10年の歩みを紹介とおすすめスポット情報収集 女性センター祭りに参加 HP 作成を学ぶ（女性のチャレンジ支援事業） 於：産業支援センター 「地域パワーの底力」公開講座参加及び茨城空港視察 檉村市長との懇談会 テーマ「おもてなしのまちづくり」 ランチ&スイーツ MAP2011版作成 ・イラストレーター松浦亨子さん

年 度	活 動 内 容
平成23年	東日本大震災義援金募金活動協力とランチマップ配布 日立さくらまつりに参加 日立市女性大学最終年度、22名が受講し報告書を提出 SNS 講座開催（茨城大学女性支援プロジェクト） 於：産業支援センター HJF のあゆみと活動紹介 女性センター祭りに参加 “月刊びばじょいふる” 主宰桂木なおさんと懇談会 於：カフェミュゼ（北茨城）
平成24年	防災に関するアンケート調査実施 女性センター祭りに参加 防災シンポジウム開催「3・3・3のちを守るあなたはどうか乗り越えますか」 基調講演講師 常磐大学 砂金准教授 於：多賀市民プラザ
平成25年	ゴミ問題と介護についてアンケート調査実施 日立市産業祭に参加 日立市長への2年に一度の提言と懇談会が始まる P20参照 於：シビックセンター
平成26年	先進事例視察（福生市・立川市リサイクルセンター） 日立市産業祭に参加 ゴミ問題と介護についてアンケート調査実施 ランチ&スイーツ MAP2015版作成・イラストレーター林友深さん 日立さくらまつりで配布
平成27年	シェアハウス（地域貢献型）コクリエ見学研修 於：大みか町 常陸太田市大久保市長との懇談会 於：常陸太田市役所 茨城県地域おこし協力隊“えぼっく”との意見交換 「日立の人口社会減全国ワースト2位からの脱却」（茨城県女性活躍推進企画提案支援事業） 講師：藻谷浩介氏（株）日本総研主席研究員 講演会開催 於：茨城大学工学部講堂 日立市長への提言と懇談会 P21参照 於：シビックセンター
平成28年	県北芸術祭関連講座開催「県北アートを学ぼう」第1回講師：横山副市長 第2回講師：金澤韻さん（アソシエイトキュレーター）「県北アートを楽しもう」バスツアー 於：県北6市町 県北芸術祭ボランティア団体協力 「日立のさくら100周年を学ぶ」講座開催 松村克弥監督 於：シビックセンター
平成29年	「人口減少からの脱却 第2弾」講演会開催 講師：藻谷浩介氏 於：ゆうゆう十王Jホール 「日立の観光まちづくり」講座開催 講師：山田桂一郎氏 於：茨城大学工学部講堂 「観光DMOへの取り組みを学ぶ」（宮城県気仙沼市／石巻市） 日立市長への提言と懇談会 P21参照 於：日立市役所
平成30年	映画「ある町の高い煙突」の制作協力 ランチ&スイーツ MAP2018版作成・イラストレーター松浦亨子さん 日立さくらまつりに参加 映画PRとイラストMAP配布 ナイトクルーズ開催「海上から日立の夜景を観賞！」 「日立のひなまつり」設置と撤収・チラシ配り協力
平成31年 令和元年 (5月より)	いきいき茨城ゆめ国体（6駅2会場のイラストMAP2019版作成）・イラストレーター松浦亨子さん いきいき茨城ゆめ国体におもてなしサポーターとして団体協力 まちづくり功労賞受賞（市政施行80周年記念） 於：日立市民会館 「ひたち・えきピアノ」設置支援 於：JR日立駅 「日立のひなまつり」設置と撤収・チラシ配り協力 日立市長への提言と懇談会 P22参照 ※ 新型コロナ感染防止のため開催中止 令和2年4月20日 提言書提出 於：日立市長室
令和2年	With コロナ新時代に向けての講座開催 （モバイル会議体験）講師：高橋美紀さん 於：シビックセンター 創立20周年記念交流会 ※ 新型コロナ感染防止のため開催中止 創立20周年記念誌作成（令和3年2月吉日発行）

創立20周年に寄せて ～あの頃を振り返って～



初代会長 岡 部 和 子
(平成12年度～13年度)

1990 年以降日立市は地元企業の不景気と重なって人口流出が拍車をかけ街のメイン通りが活気を失っていました。若年層の地元離れを心配した市は元気を取り戻そうと対策に苦慮していました。同様に市民も行動への意識が高まり、市の要請に応じた活動への参加者が増えてきました。私も久々に女性センターを訪れ、自分に出来る活動を捜していたところ、県の女性施策の「ローズプラン」で先進地ヨーロッパの視察研修をセンター長に紹介され、応募し、参加しました。この体験が地元日立市での市民活動へのきっかけとなりました。当時を振り返ると自分でも呆れるほど多くの活動に加わり、様々な貴重な体験をさせて戴きました。

1999年に、日立市の施策として「女性大学」が開校され、市への提言書を作成する機会を与えられました。提言の内容は文化・福祉・環境と3グループに分かれ、私たち文化班は多賀メイン通りの清和館跡地問題を、福祉班は子どもセンター設置の件を、環境班は放置自動車撤去の件など、それぞれ重要な喫緊の対策を提言しました。市は驚く程早く、3件とも解決して下さいました。翌年の女性大学終了後、1期生の有志で「日立女性フォーラム」を発足しました。私たちは、この会の長期的な活動の継続を願い、会長他役員の任期を2年として全員が責任を持って共同で行い、負担なく楽しく活動していくことを合意しました。

活動開始の1年目は、地元商店街の活性化を目標にタウンマップ作りから始めました。その過程で、多賀商店主の皆様と話し合う機会をもち、会合を重ねました。街を元気にしたいという共通の思いから商店主の皆様の御協力を得て、街路樹のナンキンハゼ祭りや清和館でのお雛様イベントなど楽しい行事を、女性フォーラム主催で行いました。

その後、女性フォーラムへの入会者を得て、役員のバトンをつないで20年という歳月が流れました。今や当会から2人の女性市議会議員を輩出し、有識者の方々も入会して、パワー溢れる日立女性フォーラムに成長しています。

10年前、私の活動を支援し協力を惜しまなかった夫が他界して、夫の事業を受け継いだ時、全力で責任を果たす必要から止む無く女性フォーラムを退会致しましたが、今後も会の発展を願って見守っていきたいと思っております。

最後になりましたが、日頃から当会をはじめ、日立の女性たちの活動を支え御指導下さっているらぼーる協会、及び女性センター長はじめスタッフの皆様には心よりお礼申し上げます。また、女性フォーラムの創立に御尽力頂いた亡き塙ちゑ子氏の御冥福を祈り、御霊前にこの創立20周年の記念誌を捧げます。



第2代会長 八 木 廣 子
(平成14年度～15年度)

「日立女性フォーラム」が創立20周年を迎えたこと、とても素晴らしいことと嬉しく思います。これまで、会員のみんなが協力して活動が続けてきたことで、街づくりの成果を挙げることができたのではないのでしょうか。

20年という間、会の活動が続けるという事には、苦労もあったように思いますが、会員の創意と工夫で乗り越えてきたように思います。

女性の視点で日立にはどんな商店会や飲食店があるのだろうと始めた「まちかどウォッチング」が、マップ作成に繋がり、大変好評であったことなど懐かしく思い出されます。

会の会則に「会長の任期は2年を限度とする」とあるようにいろいろなカラーで歩んできた20年！女性大学も開催されなくなり、新しい会員の増えない状況のなかこれから活動をどのように続けていくか、課題があるとは思いますが。

楽しく学び、仲間と繋いできた20年の間、関わったことが心の支えになっています。これからも、日立女性フォーラムの活動が、続いていくことに期待しています。



第3代会長 福 地 季 子
(平成16年度～17年度)

20年間新しい視点や施策を提言し続けた女性フォーラムに心からお祝い申し上げます。

私は日立女性フォーラムの前身の女性大学を3回受講しています。はじめは、“町のラジオ局”“子どもの心に残る地域のまつり”を提案。3度目の提言「神峰公園を関東一に」発表のパワーポイント研修は後々とてもためになりました。

私は、3代目の会長になり、それまでの多賀商店会とのつながりを途切れさせたくないと思いました。定例会で、見て楽しめ、壁に貼っておいて実生活に使える多賀町のイラストタウンマップを作ろうということになり、平成16年度日立市「女性によるふるさと再発見事業」の助成を受け作成したのが、「彩づく樹々のまちー多賀」です。

翌年「茨城県ハーモニー功労賞」を受賞しました。国立女性教育会館で開催された「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム」にワークショップ「生き生きわが街のタウンマップ作り」を出展し、人とのつながりを感じて勇気ができました。

当初「日立女性フォーラムって何？」と言われながらの活動でした。今、女性フォーラムが種々の会議に出席し市政に関わっていることをうれしく思います。そして今もメンバーが市民のため身を挺して活動する姿は貴重で素晴らしく、とても美しいと感じています。これからもご活躍を祈念いたします。



第4代会長 桐 上 悦 子
(平成18年度～19年度)

私は入会して3年目に、先輩方に助けられ、会長をさせていただきました。今振り返れば、学生時代の文化祭のようなわくわくする活動でした。市民の為に役立てることは何か？この街に必要なものは何か？縁の下の力持ちになりたいと、体を動かしていたように思います。

日立さくらまつりではランチマップを配り、女性センター祭りでは、「私たちにできること＝市民の手でまちづくり」と題して、市内の各種ボランティア団体を調べ展示しました。今のよう、市に向けた提言ができるような団体に成長したことは大変喜ばしいことです。

忘れられない思い出となったのは、国立女性教育会館で行われた「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム」において「生き生きわが街のタウンマップ作り」というワークショップを担当した時のことです。前日のディスカッションで、全国女性団体のトップの方々の素晴らしい活動力・行動力の生の声を聴き、大きな衝撃と感銘を受けました。そのことは今の私の、活動の原点となっています。現在の女性フォーラムは素晴らしい団体となりました。今後も一員として、力を尽くしていく所存でございます。



第5代会長 臼 井 多 賀 子
(平成20年度～21年度)

「日立女性フォーラム」のみなさま、創立20周年おめでとうございます。

思い起こせば、日立市女性大学の第一期の受講終了時に、せっかく学んだことを活かさない手はないと、有志で、自分たちの住むまちを女性の視点で考えてみようという活動をスタートさせたように思います。今は無き清和館での雛飾り、多賀商店会との懇談会、タウンマップ作り、ヌエック(国立女性教育会館)でのワークショップ、など当時の事業が懐かしく思い出されます。

その後に続く多くの前向きな会員の皆様に恵まれ、立派な会に成長されましたこと、一会員として喜ばしいことと陰ながらエールを送っておりました。

「継続は力なり」20年にわたり、自分の地域をいかに生活しやすい社会にしていけるか、情熱を持って取り組む仲間のいることは力強い限りです。人口減少、少子高齢化の進行に加え、新たな感染症の発生、拡大など予測困難な時代です。コロナ渦による新生活様式への移行を考えあわせ、これまでの経験を力に、益々大きく羽ばたいていってください。日立の輝く女性たちに期待しています。



第7代会長 藤 森 結 花
(平成24年度～25年度)

日立女性フォーラムは暮らしの中で感じた困りごとやより良い生活環境のために提言をしてきた女性団体です。その日立女性フォーラムの起点である「日立女性大学」が、平成23年度で終了し、提言の場が途絶えてしまいました。

しかし、自分たちの住む街「日立」へ自分たちの声を届け続けていきたいと、会員からの声が上がリ、2年に一度提言をさせてもらえる仕組みを構築しました。

私的ではなく、女性ならではの視点で、日々の生活の困りごとの解消や、自分たちの街が住みやすくなるよう提言し続けてきました。これからも住んでよかった、住み続けたいそう思える街であるよう、その一助を日立女性フォーラムが担っていけるよう力を合わせていきましょう。平成22年、創立10周年を機にロゴマーク作成を提案し、制作に携わったことは懐かし思い出です。日立女性フォーラムでの活動が私の礎になっています。ご縁に感謝申し上げます。



第8代会長 六 車 幸 子
(平成26年度～27年度)

私が会長を務めましたのは、「茨城県の魅力度ワースト1」といわれていた頃で、市では地方創生担当課が新設され、会の代表として審議会に参加しました。また、日立市の人口社会減が平成25年、26年と連続全国ワースト2ということもあり、若者が住みたいまちにするために日立市には何が足りないのか調べてみようということになりました。「若者が戻って来たいと思う日立にするには」という課題に向かって常陸太田市や若者起業家たちとの意見交換をし、大学や高校、会社などへ進路状況の調査をした結果、子育て世代の流出が目立っていることがわかりました。子育て支援の充実と進学のため首都圏に出た若者が帰って来たくするために「魅力あるまちづくり」が重要であるという課題が明確になりました。

そこで、茨城県女性活躍推進企画提案支援事業に参加し、「日立の人口社会減全国ワースト2位からの脱却」という講演会を企画、講師に㈱日本総研主任研究員の藻谷浩介氏をお迎えしました。茨大工学部の大ホールが参加人数250名で埋め尽くされたことは忘れられません。平成28年1月には「若者と女性が住みたい日立へ」で提言発表し、既に実現されているものもあります。今後も力を合わせて女性目線での気づきを市に届けていきたいと思います。



第9代会長 井手高子
(平成28年度～29年度)

日立女性フォーラムが20年の節目を迎えられましたことに対しお祝い申し上げます。私は平成28.29年度の会長を務めさせていただき、前任の六車会長が取り組んだテーマ「日立市の人口減少問題」を引き継ぎました。

講演会や勉強会を行う中、茨城県北芸術祭の協力団体として啓発、広報にも取り組み、更に映画「ある町の高い煙突」の撮影協力などを通して、茨城県北や日立市の魅力を改めて実感することができました。なかでも、観光カリスマの山田桂一郎氏を招いて開催した講演会から、市民一人ひとりが我が街の魅力を知り、誇りに思い、この街に住んで良かったと実感したときに、魅力ある街になり、それがそのまま観光のまちづくりにつながることを学びました。

28.29年度の締めくくりに「日立の観光まちづくり ～日立のいいね！を 日立の力に！～」をテーマに提言発表をさせていただきました。

2年間の中で大小4回の講演会や勉強会、県北芸術祭見学研修ツアーなど多くの取り組みは、役員の皆様、会員の皆様のご協力の賜物です。

本当に素晴らしい仲間がいる日立女性フォーラムの益々のご発展を心からご祈念申し上げます。

令和元年 市制施行80周年記念 生活環境功労表彰



H12 清和館 ひなまつり



思い出のひとこま



H15 多賀商店会と交流



H16 常陸太田市まちかどウォッチング



H17 十王町女性団体との交流



H17 ハーモニー功労賞



H18 女性センター祭り展示



H18 蒟蒻づくり体験



H19 女性センター祭り展示



H19 矢祭もったいない図書館



共楽館周辺

櫻塚



H22まちづくり現地調査



御岩神社



H22 櫻村市長との懇談会



H22 たかはら自然塾で総会

思い出のひとこま



H23 女性大学終了



H25 市長提言



H26 福生市・立川市リサイクルセンター視察



H27 藻谷浩介氏 講演会



H28 県北アートを学ぼう！楽しもう！



H28 チャレンジ支援事業報告会



H29 山田桂一郎氏 講演会



H29DMO 法人（一社）気仙沼地域戦略事務所訪問



H29震災復興語り部の橋本さんと（気仙沼）



H30 ある町の高い煙突ロケ現場とロケ弁



H31 おひなさま設置



H31 総会前に大甕駅西口拝見！

歴 代 役 員

年 度	会 長	副会長	書 記
平成12年度 平成13年度	岡部 和子	西山 光江 沼野上 淑子	八木 廣子 島 悦子
平成14年度 平成15年度	八木 廣子	沼野上 淑子 鈴木 良子	西山 光江 柴田 百恵
平成16年度 平成17年度	福地 季子	前田 勝子 谷田部 利江	西山 光江 八木 廣子
平成18年度 平成19年度	桐上 悦子	衣鳩 美穂子 臼井 多賀子	六車 幸子
平成20年度 平成21年度	臼井 多賀子	八木 廣子 中川 雅子	西山 光江 佐藤 裕子
平成22年度 平成23年度	佐々木 早苗	佐藤 裕子 和田 孝子	柴田 百恵 中川 雅子
平成24年度 平成25年度	藤森 結花	中川 雅子 六車 幸子	衣鳩 美穂子 井手 高子
平成26年度 平成27年度	六車 幸子	中川 雅子 柴田 百恵	衣鳩 美穂子 井手 高子
平成28年度 平成29年度	井手 高子	柴田 百恵 助川 典子	佐々木 早苗 森戸 裕子
平成30年度 令和元年度	佐々木 早苗	柴田 百恵 六車 幸子	中川 雅子 高野 たい子
令和2年度 令和3年度	柴田 百恵	中川 雅子 佐藤 理恵子	高野 たい子 松本 京子

会計	監査	コーディネーター	相談役
加藤 洋子 桑原 洋子			
谷田部 利江 松本 京子	加藤 洋子		
間瀬 ユミ子 松浦 千里	松本 京子		塙 ちゑ子 岡部 和子
福地 季子 谷田部 利江	間瀬 ユミ子 松浦 千里	八木 廣子	塙 ちゑ子 岡部 和子
柴田 百恵 佐々木 早苗	福地 季子 谷田部 利江	桐上 悦子	岡部 和子
藤森 結花 吉成 ひろ子	福地 季子 鈴木 良子	臼井 多賀子 八木 廣子	
吉成 ひろ子 桑原 洋子	和田 孝子 柴田 百恵	八木 廣子 桐上 悦子 佐々木 早苗	
桑原 洋子 中根 武子	吉成 ひろ子	桐上 悦子 藤森 結花	
中根 武子 松浦 千里	中川 雅子 衣鳩 美穂子	桐上 悦子 六車 幸子 藤森 結花	
松浦 千里 吉成 ひろ子	中根 武子 助川 典子	桐上 悦子 藤森 結花 井手 高子	
六車 幸子 中根 武子	松浦 千里 吉成 ひろ子	井手 高子 佐々木 早苗	

これまでの提言

平成22年度

檜村市長をお迎えしての新春懇談会	
テーマ	主な内容
おもてなしのまちづくり	おすすめコース現地調査報告書 ①多賀駅周辺 半日コース（徒歩） 多賀駅→多賀市民プラザ→すえひろ老人の家→大久保鹿島神社→ 暇修館→ギャラリー・茶房 やまもと ②日立市役所周辺 半日コース（徒歩） 市役所→山野辺家墓所→桜塚→熊野神社→共楽館・斯道館界隈→ 戸来うどん屋 ③中里地区周辺 1日コース（マイカー） 市役所→日鉱記念館→きららの里→とうふ工房→御岩神社→ 中里スポーツ広場→玉簾の滝

平成25年度

テーマ	主な内容	メンバー
“高齢者・障がい者・乳幼児に優しいまち”としての観光	震災以降、工業都市日立の観光入込客が伸びていない現状を打破し、日立の観光資源を知ってもらい、県内外から観光入込客増する ・既存の観光マップへユニバーサル情報をわかりやすく表示 ・介護の日「11月11日」の前後2週間を介護週間とする ・介護食やシニアメニューの提供やイベントを開催し啓発する	衣鳩美穂子、桐上悦子、 桑原洋子、助川典子、 中川雅子、中根武子、 西山光江、福地季子、 藤森結花、六車幸子、 吉成ひろ子
“2025年に向けて”再生資源回収システムの構築	・子育て世代、共働き世帯、高齢者世帯等が、助け合い・支えあう地域づくり （地域福祉活動〈助け合い活動〉をCB〈コミュニティビジネス〉やNPO活動として取組む） ・環境に配慮した循環型社会を創るため、一人ひとりが省資源・省エネルギー・リサイクルシステムの構築（市民が活用しやすいリサイクルプラザの設置）	鈴木恵子、八木廣子、 佐藤裕子、森戸裕子、 柴田百恵、佐々木早苗、 井手高子、久保木初江、

平成27年度

テーマ		主な内容	メンバー
若者と若い女性が住みたい日立へ	子育て支援 ～日立子育て環境いいね！～	・働く世帯の子育て支援 ・子どもの医療と精神的サポート ・子育てに関する情報提供 ・入学時の祝い品ランドセルの確認 ・子育てに関するPR	佐藤裕子、柴田百恵、松浦千里、森戸裕子
	公共交通の充実 ～利用促進を考える～	・バス路線とBRTの連携 ・BRTの活用について ・利用しやすのための料金設定 ・利用しやすい時間の設定 ・BRTバスを水素燃料で	桐上悦子、助川典子、中根武子、鈴木恵子
	空家バンクで起業支援 ～空き家バンクの創設でまちの資源として活用～	・地域貢献型シェアハウスとして起業支援 ・能力や趣味を生かした起業支援 ・健康づくりのサロンとして利用支援 ・子どもが集える場所として利用支援	六車幸子、衣鳩美穂子
	地域おこし協力隊の導入 ～地域おこし協力隊を日立市へ～	・コミュニティカフェづくりに携わる「コミカ隊」の募集 ・映像制作など情報発信業務に携わる「ひたちのイイネ発信隊」の募集	八木廣子、井手高子、宮澤孝子

平成29年度

テーマ		主な内容	メンバー
日立の観光まちづくり 「日立のイイネ」を日立の力に！！	「さくら」担当部署の設置を	・産業の発展とともに「ぐくまれた桜は日立市民の誇り＆まちづくりの中心」	井手高子、柴田百恵、六車幸子、衣鳩美穂子、佐々木早苗、佐藤裕子、助川典子、藤森結花、松浦千里、桐上悦子、高野たい子、中川雅子、中根武子、永井泰子、森戸裕子、朝日美智代
	郷土愛を育む地域学の視点と方法に工夫を	・教員や子どもたちの現地見学研修会促進と地域との交流 ・「こども観光ボランティア」の育成	
	工場見学やものづくりを体験ツアーの目玉に	・日立市はものづくり産業のまちであり、専門の技術者が多い。 ・美しい風景やおいしい食と組み合わせて、まず若い女性を呼び込む工夫	
	農業・漁業体験や日立の食品を観光の目玉に	・「今だけ ここだけ あなただけ」をテーマに自然豊かな体験を盛り込んだ観光の提供	

平成29年度

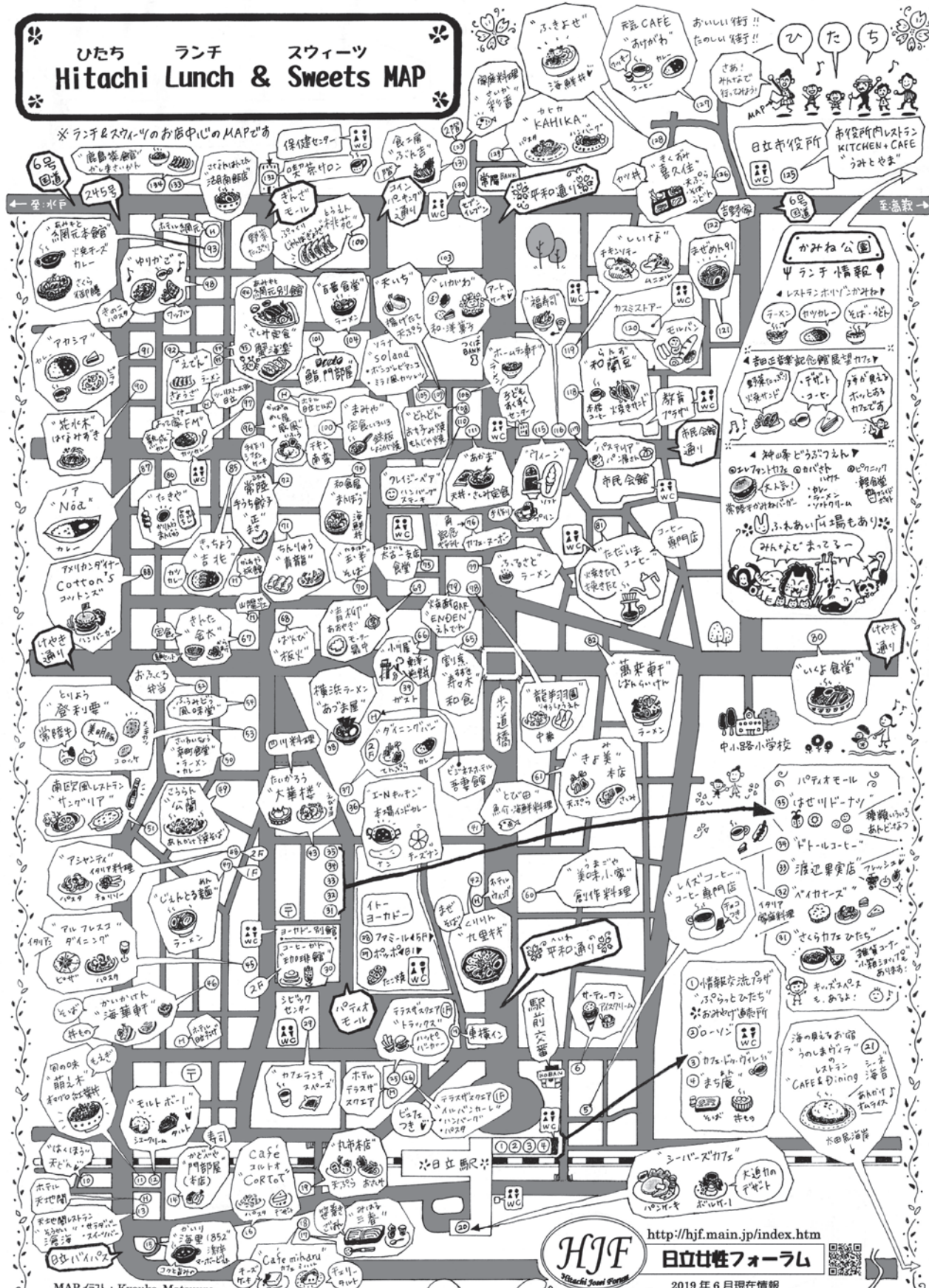
テーマ	主な内容	メンバー
〽 日立の観光まちづくり 〽 日立のイイネ！を日立の力に！ 〽	日立市 HP の観光情報を充実させよう	井手高子、柴田百恵、 六車幸子、衣鳩美穂子、 佐々木早苗、佐藤裕子、 助川典子、藤森結花、 松浦千里、桐上悦子、 高野たい子、中川雅子、 中根武子、永井泰子、 森戸裕子、朝日美智代
	行ってみたいと思わせるガイドブックを	
	ぶらっとひとちに利便性と吸引力を	
	全国に情報を広げるために空き家バンクの設立を	
	乗りやすい 利用しやすい路線バスに	
	日立市観光戦略会議の開催を	
	・旅をしたいと思うときまず PC やスマホで情報収集 ・行きたいと思う観光の HP の充実 ・ようこそその思いが伝わる ・外国人観光客を見据えて多言語表記 ・路線バス経路や観光案内を更に充実 ・日立ブランドなどのお土産満載 今日のおすすめの一品！ ・Suica も使えるようにする ・移住定住の促進 ・日立市の住みやすさを積極的にアピール ・路線図と案内表示の明確化 ・運行時間と本数の改善 ・一日乗り放題チケット発行 ・停留所の環境改善 ・バス情報の充実（バスロケシステム） ・観光業に加え商業・工業・水産業・農業や市民を巻き込んだ連携が重要	

令和元年度

テーマ	主な内容	メンバー
〽 観光によるまちづくり 〽 インバウンド観光のための基盤整備 〽	わかりやすい表記	六車幸子、吉成ひろ子、 遠藤美智江、桐上悦子、 中根武子、藤森結花
	観光のための交通	
	日立流のおもてなし	
	・駅周辺案内板の充実 ・観光案内パンフレットの充実 ・ピクトグラムの活用 ・多言語表記 ・料金支払いのストレスをなくす キャッシュレス化 / 定額化乗り放題 ・路線バスで周遊したくなる環境整備 ・魅力的な路線を提案する ・情報交流プラザぶらっとひとたちの機能集約と情報発信 ・日立流おもてなしマイスターの育成 - 日立観光マイスタードライバー 認定	高野たい子、松浦千里、 福地季子、助川典子、 井手高子、斉藤直子 中川雅子、柴田百恵、 森戸裕子、佐藤裕子、 永井泰子

ひたち ランチ スウィーツ Hitachi Lunch & Sweets MAP

※ランチ&スイーツのお店中心のMAPです



MAP 作成: Kyouko-Matsuura

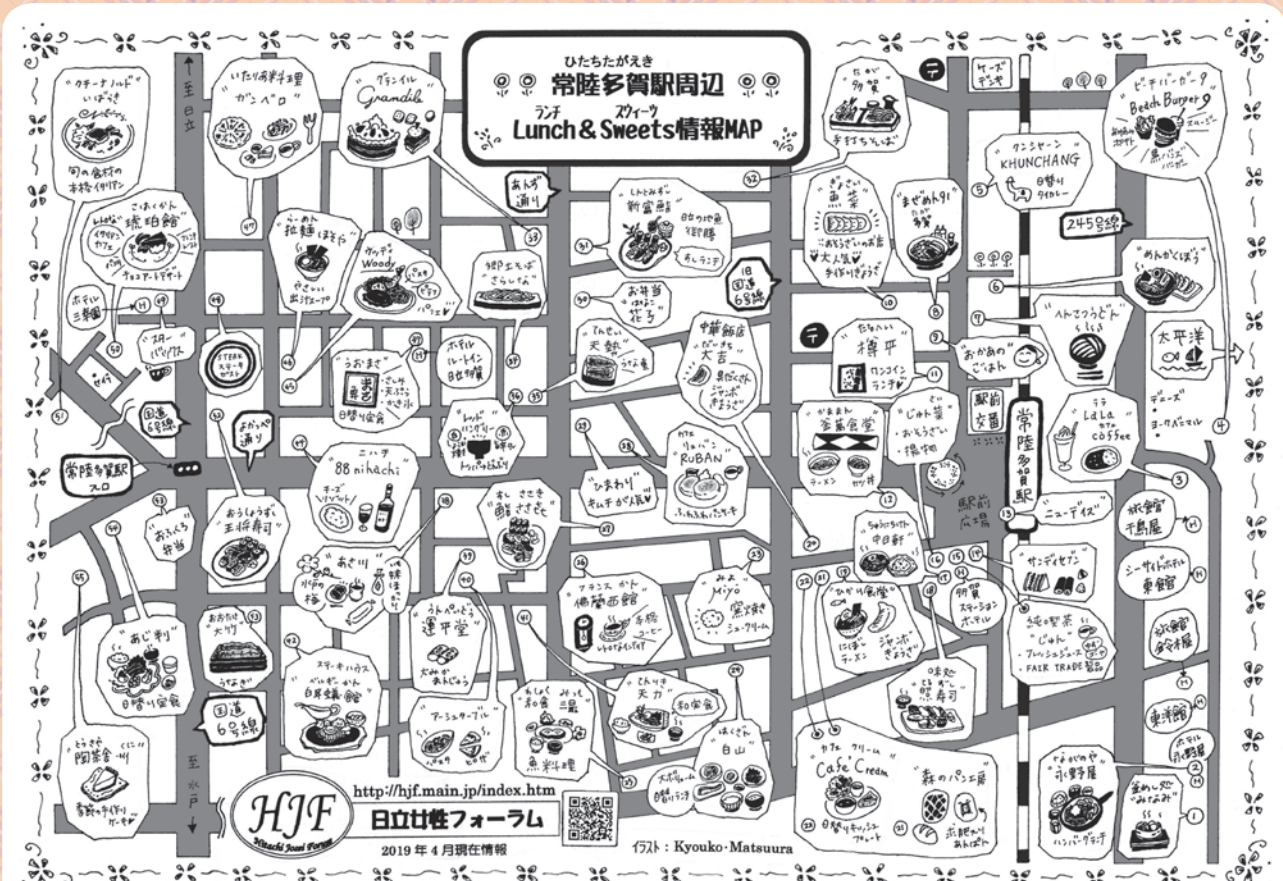
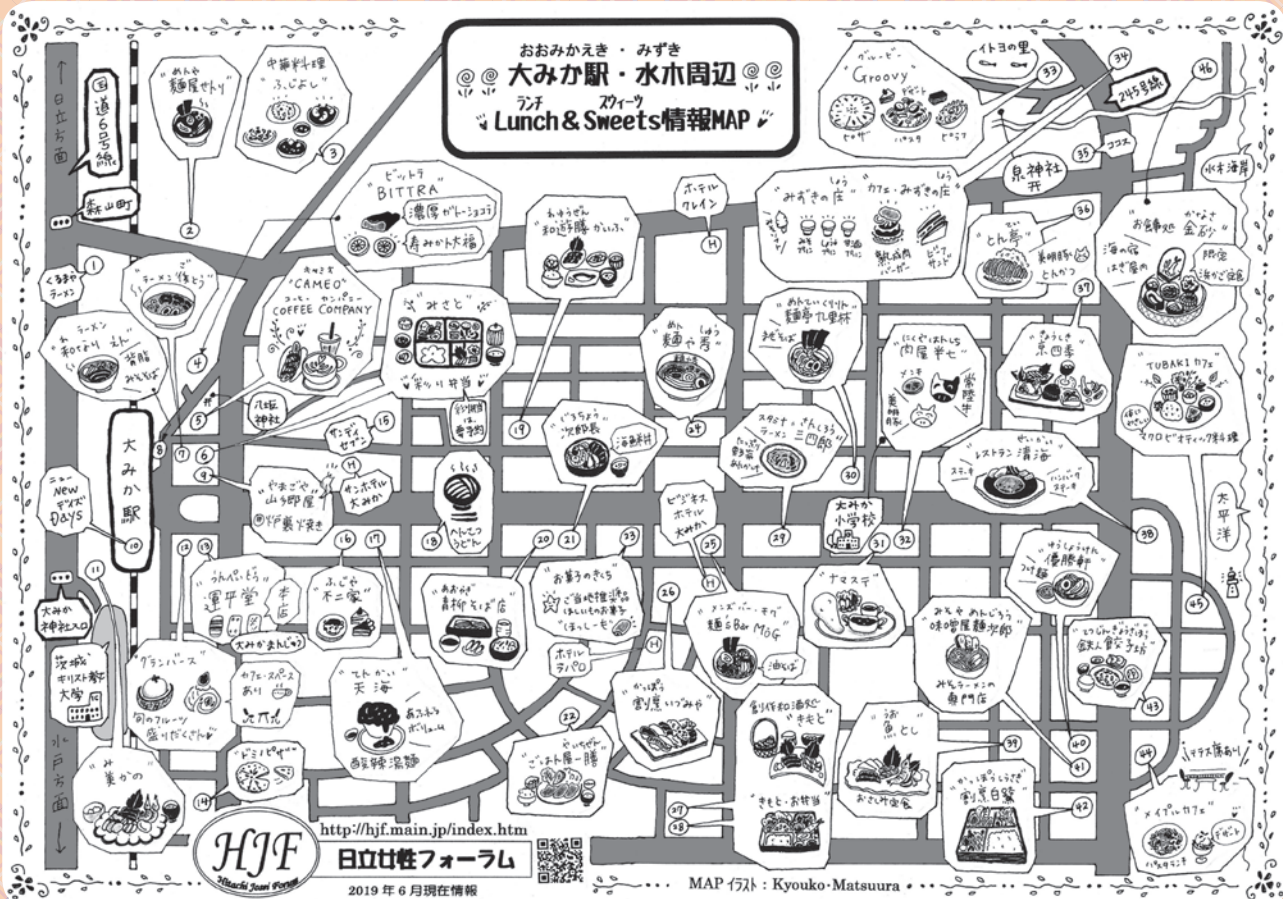


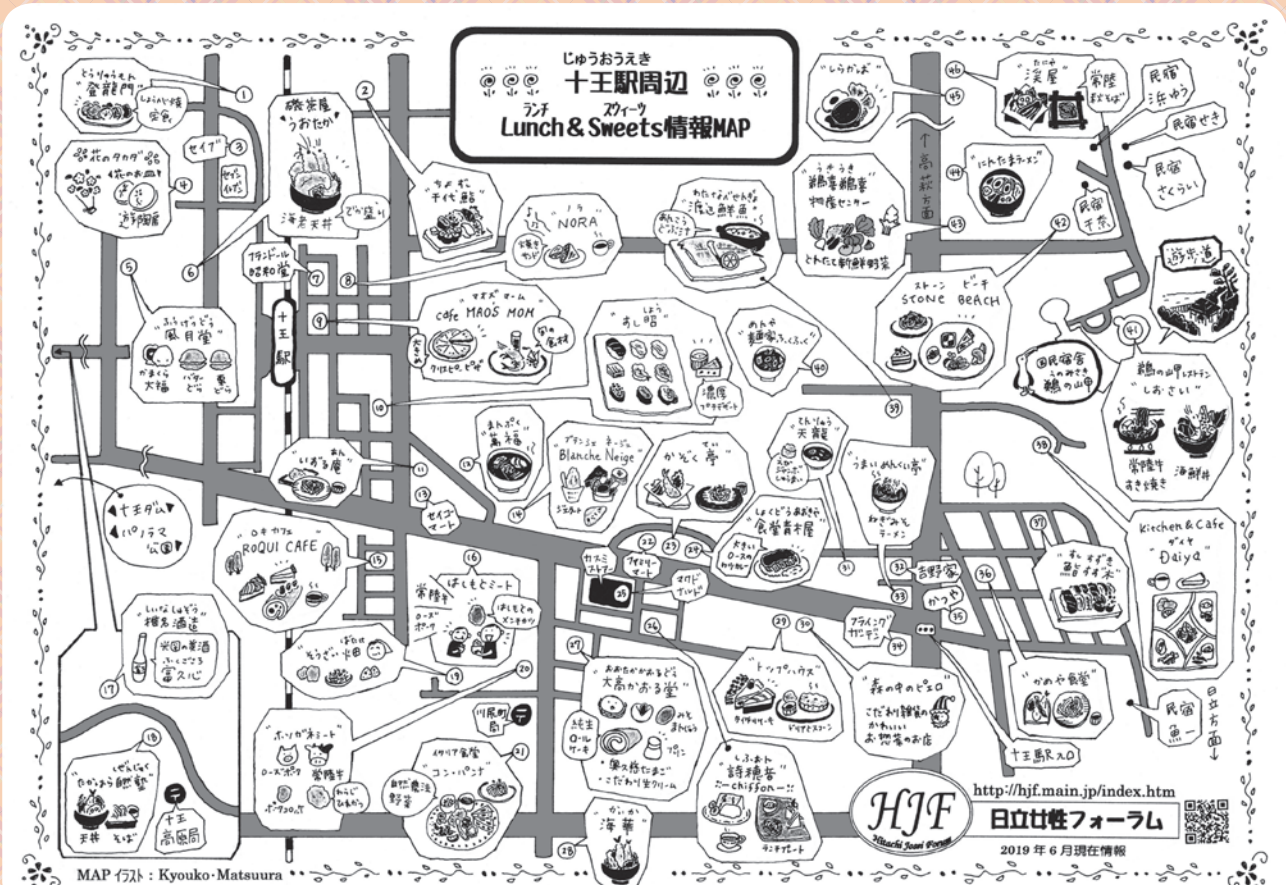
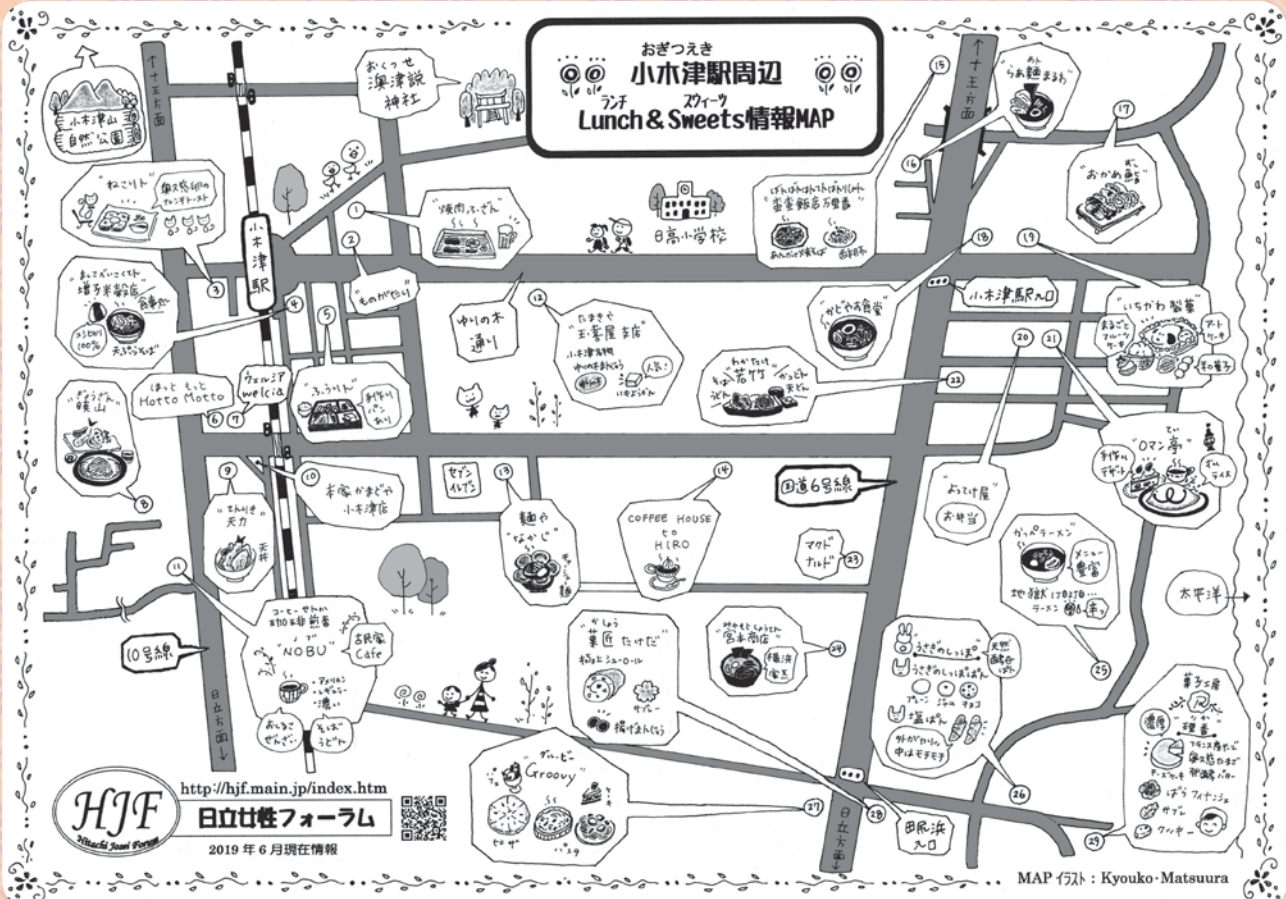
<http://hjf.main.jp/index.htm>

日立女性フォーラム

2019年6月現在情報







日立女性フォーラム 会則

〔名称〕

1 条 この会の、名称は「日立女性フォーラム」とする。

〔事務局〕

2 条 この会の、事務局は会長宅に置く。

〔目的〕

3 条 この会は、「元気で、人にやさしいまちづくり」を目指し、主体的に活動していくことを目的とする

〔事業〕

4 条 この会は、前条の目的を達成するため、必要に応じ事業を随時行う。

〔会員〕

5 条 この会の、会員は日立女性大学の修了生及びこの会の目的に賛同する女性によって構成する。

〔役員〕

6 条 この会に、次の役員を置く。

- 〔1〕 会長 1 名
- 〔2〕 副会長 2 名
- 〔3〕 書記 2 名
- 〔4〕 会計 2 名
- 〔5〕 コーディネーター 若干名

2. 役員の選出

役員は、会員の互選によるものとする。

3. 役員の任期

役員の任期は、2 年とする。但し再任は妨げない。

会長の任期は2 年を限度とする。

4. 役員の任務

- 〔1〕 会長は、この会を代表し、会務を総括する。
- 〔2〕 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
- 〔3〕 書記は、会議及び事業を記録する。
- 〔4〕 会計は、会費の出納を行う。
- 〔5〕 コーディネーターは、会の運営と必要に応じて各機関・団体との連絡調整を図る。

〔監事〕

7 条 この会に監事2 名を置く。会長が指名する。監事は会の会計に関する書類を監査する。

〔相談役〕

- 8 条 1. この会に、相談役を置くことができる。
2. 相談役は、役員の同意を得て会長がこれを委嘱する。
3. 相談役は、会長の要請に応じて運営委員会及び例会に出席し意見を述べることができる。

〔総会・運営委員会・例会〕

- 9 条 1. 総会は、年 1 回開催する。
運営委員会は、役員をもって構成し随時開催する。
例会は、月 1 回程度開催する。
2. 会の議長は、会長がこれにあたる。

〔会費〕

- 10 条 この会の、会費は会員一人当たり年1,500円とする。

〔事業年度〕

- 11 条 この会の、事業年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

〔会則の改正〕

- 12 条 この会則に定めるものの他、必要事項が生じた場合は、役員が協議の上定める。

附 則

- 1 条 この会則は、平成12年 6 月23日から適用する。

平成13年4月14日 一部改正

平成18年5月20日 一部改正

平成24年5月12日 一部改正

附則 1 条の記録

平成13年 4 月14日 一部改正については改正箇所不明	
平成18年 5 月20日 一部改正	
〔役員〕 6 条〔3〕書記 3 名	〔役員〕 6 条〔3〕書記 2 名に改正。
役員の任期は、1 年とする。但し再任は妨げないが、2 年を限度とする。	役員の任期は、2 年とする。但し再任は妨げない。 会長の任期は、2 年を限度とする。
平成24年 5 月12日 一部改正	
〔目的〕 この会は、日立市女性大学修了生が新たな自己実現と「元気で、人にやさしいまちづくり」を目指し、主体的に活動していくことを目的とする。	〔目的〕 この会は、「元気で、人にやさしいまちづくり」を目指し、主体的に活動していくことを目的とする。
〔会員〕 この会の、会員は日立市女性大学修了生及びこの会の目的に賛同するものによって構成する。	〔会員〕 この会の、会員は日立女性大学の修了生及びこの会の目的に賛同する女性によって構成する。

会 員 名 簿

(2020年12月現在)

番号	氏 名	住 所	主 な 活 動 分 野
1	臼井 多賀子	日立市東金沢町	(一社) ガールスカウト茨城県前連盟長 NPO 法人ウィメンズネット「らいず」役員 国際交流ボランティアネットワークさくら代表世話人
2	桑原 洋子	日立市東大沼町	ひたち生き生き百年塾市民教授 NPO 法人インパクト会員 手織り工房・糸あそび主宰
3	中川 雅子	日立市鮎川町	終活上級カウンセラー 一般社団法人ライフ・ケア・ひたち副会長 ILA 美来学 LLC 代表 NPO 法人インパクト理事
4	西山 光江	日立市東成沢町	国際交流ボランティアネットワークさくら NPO 法人ウィメンズネット「らいず」 日立市立多賀中学校校友会役員 子ども食堂運営団体なるさわドリームズ
5	福地 季子	日立市白銀町	茨城県男女共同参画推進員 国際交流団体フレンドリーあんず役員
6	八木 廣子	日立市大久保町	男女共同参画社会ひたちを実現する会「イコールズ」会員 吉田正記念事業推進員 大久保地区社協推進員 母親クラブけやき会
7	佐藤 裕子	日立市高鈴町	認定 NPO 法人共楽館を考える集い代表理事 高鈴台団地女性会 NPO 法人ひたち親子の広場
8	助川 典子	日立市諏訪町	地域子ども食堂運営団体諏訪ひまわり代表 (有) フルハウスカンパニー介護支援センターひまわり役員
9	間瀬 ユミ子	日立市西成沢町	講演会や提言に参加
10	松浦 千里	日立市諏訪町	講演会や提言に参加
11	森戸 裕子	日立市助川町	NPO 法人ひたち親子の広場代表理事 日立市社会教育委員 助川小学校学校運営協議会委員 ひたち・駅ピアノ実行委員会副会長
12	衣鳩 美穂子	日立市諏訪町	講演会や提言に参加
13	柴田 百恵	日立市会瀬町	ひたち生き生き百年塾推進本部副本部長 会瀬学区コミュニティ推進会副会長 会瀬小学校運営協議会地域コーディネーター 日立市社会教育委員他
14	松本 京子	日立市川尻町	茨城県県北生涯学習センター職員 茨城県女性のつばさ会員
15	桐上 悦子	日立市西成沢町	茨城県男女共同参画推進員 日立市地域ブランド推進員 日立とアジアの文化交流をすすめる会会員
16	六車 幸子	日立市西成沢町	民生委員児童委員協議会会員(民生委員)
17	佐々木 早苗	日立市西成沢町	民生委員児童委員協議会会員(主任児童委員) ひたち・駅ピアノ実行委員長 (公財) 日立市公園協合理事 (公財) 日立市民科学文化財団理事
18	中根 武子	日立市河原子町	茨城県シルバーリハビリ体操指導士 JA 日立市多賀女性部所属
19	藤原佳志子	日立市十王町	茨城県青少年育成アドバイザーの会副会長 日立市青少年相談員 十王地区青少年育成協議会会長 十王中学校学校評議員
20	和田 孝子	日立市滑川本町	ガールスカウト日立クラブ代表 日立市さくらのまちづくり市民会議役員 日立市自然の村協会会長 (公財) 日本花の会会員
21	井手 高子	日立市金沢町	(公財) 日立市公園協合理事 いばらき観光マイスター アニマルセラピー ワンダーフレンド代表
22	藤森 結花	日立市多賀町	日立市議会議員 (一社) Smile Plus 代表理事 子ども食堂事業「おかえり! ごはん食堂」副委員長
23	遠藤美智江	日立市河原子町	講演会や提言に参加
24	吉成 ひろ子	日立市入四間町	民生委員児童委員協議会会員(民生委員) マスターティ・エキスパート(紅茶) 紅茶教室ガゼボ代表
25	佐藤 恵理子	日立市高鈴町	ひたち生き生き百年塾推進員
26	宮澤 孝子	日立市川尻町	薬膳料理教室経営 会社役員 経済産業省ミラサボ専門家 日本農業実践学園理事 東京五輪2020選手村飲食ハラル担当
27	高野 たい子	日立市十王町	NPO 無料学習支援講師 茨城県シルバーリハビリ体操指導士 ひたち・駅ピアノ実行委員会 シビック・サイエンス・ボランティア
28	朝日 美智代	日立市諏訪町	賛助会員
29	藤井 公子	日立市大みか町	日立市空き家対策協議会委員 さくらカフェ青葉台サロン運営委員会事務局 大みか小学校 PTA 副会長 昭和電工マテリアルズ㈱社員
30	永井 泰子	日立市鹿島町	茨城県県北生涯学習センター職員 日立市社会教育委員
31	斉藤 直子	日立市日高町	(一社) ライフ・ケア・ひたち会員 (いこいのひろば&すくすくセンター協力員)
32	高橋 美紀	常陸太田市亀作町	(一社) なでしこ未来塾理事 (一社) 母親アップデート理事 minime 代表 KENPOK Uyoga 主宰 みゅーず net 運営役員 常陸太田自酒プロジェクト
33	石森 礼子	水戸市青柳町	フリーアナウンサー (Jway アナウンサー) いばらき観光マイスター S 級 茨城県図書館講師 アスリートフードマイスター 東京オリンピック聖火ランナー
34	椎名 有子	日立市十王町	椎名観光バス株式会社取締役部長(広報)

あ　と　が　き

当会は、20年前に「元気で、人にやさしいまちづくり」という女性らしいしなやかな目的を旨に創立しました。そして、その思いと情熱が今日まで受け継がれてきたことを、この記念誌の編集に携わって感じています。

これからも、互いに成長しあいながら、一つひとつの活動が続くものと信じています。

本誌が先人たちの足跡の振り返りと、新たな仲間をお迎えする「未来へバトン」となりますことを切に願ってやみません。2020年は、100年に一度といわれるパンデミック(新型コロナウイルス)により、十分な活動ができない事態となりました。

最後に、この記念誌を発行するにあたり皆様の、ご協力とお力添えに心から感謝申し上げます。

編集委員一同

創立20周年記念事業実行委員

柴田 百恵	中川 雅子	佐藤恵理子
高野たい子	松本 京子	六車 幸子
中根 武子	佐々木早苗	井手 高子(表紙装丁)
大内 弓子	(男女共同参画推進室)	

発行日 令和3年2月吉日
編 集 創立20周年記念事業実行委員会
発 行 日立女性フォーラム(事務局)
〒317-0076 日立市会瀬町2-16-12
TEL/FAX 0294-37-4304
<http://hjf.main.jp/index.html>
印 刷 日立高速印刷(株)





Founded in February 2000
<http://hjfm.main.jp/index.html>